



PF 家庭犬マナーテスト -スタンダードクラス- ルールブック

(受験者用)

2023年1月17日 改

受験資格

- 畜犬登録がされている(飼主が鑑札を持っている/犬が装着している)
- 必要なワクチンが済んでいる
 - 年に1回以上狂犬病ワクチン・混合ワクチンを接種
- 適切なグルーミングがされている
- 健康な犬である/治療内容や病状を飼主がきちんと把握している
- 受験時に犬が12ヶ月齢以上である(12ヶ月齢未満の合格であれば仮認定とする)
- (雌犬のみ)ヒート期間ではない

失格項目

- 試験項目で「×」がついた場合
- 試験中 人に対しての噛みつき行為が見られた場合(空噛みも含む)
- 他の人を見て3回以上の連続的な吠え/唸り等が見られた場合
- 他の犬を見て3回以上の連続的な吠え/唸り等が見られた場合
- 吠えが10回以上見られた場合
- 試験中の排泄行為
- 試験中に3回以上の飛びつき(人/モノも含む)が見られた場合
 - ※ 飛びつき…両前肢が浮いた状態でどちらかの肢が対象に触れた場合
- (雌犬のみ)ヒートの把握がされていない場合
- オフリード(手からリードが離れること)が確認された場合
- テスト会場から見える範囲で
 - 犬に矯正・罰・乱暴なトレーニングが施されている場合
- 装着されている犬具が締めきり状態だった場合
- ジャッジが犬のコントロールが不能になっていると判断した場合
 - 又は試験続行不可能と判断された場合
- 本試験の指定時間内に遅刻・無断欠席した場合

注意事項

- 試験中のトリーツ/おもちゃ(周囲の状況を見て使用)の使用は可とする
 - ただし、指定された項目に関しては使用を制限する場合がある
 - 詳細は各項目を参照
- 試験は1頭ずつ行う

審査基準

- ✓ 試験時テスト項目が「×」と判断された場合、失格となる。
- ✓ 85/100 で合格とする。
- ✓ コマンドは各項目 3 回までとする、それ以上は「×」採点となる。
 - 「座れ」「伏せ」「待て」はそれぞれ別コマンドとしてカウントする。
 - 声符(声の合図)と視符(手等の合図)はそれぞれカウントする。
同時に出した場合は 1 回とみなす。
 - 視符の継続は可とする。
 - 視符のみのやり直しも 2 カウント目をとることとする。
- ✓ 基本的に飼い主の姿勢は問わない。(座れ・伏せの項目は除く)
- ✓ 犬具は予め締まらないようにしておく。

他

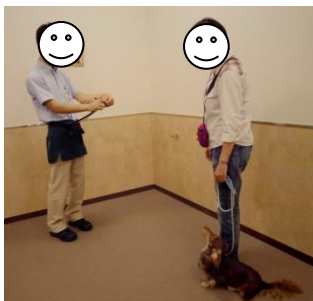
- ✓ 試験時間…1 組 30 分程度を想定・解説含
 - ✓ 犬の馴致や休憩等も含め 1 組辺り 1 時間の時間を取る
- ※ 当日のスケジュールを参照

試験料金

- ✓ ￥1,000(総額 ￥1,100)

1. (犬への理解) 他人との会話中での犬の様子(口頭質問・事前申告・手入れくじ引き)

[審査]: ジャッジと約 1.5m 離れ、口頭での質問に答える。また、お手入れ項目のくじを引く。



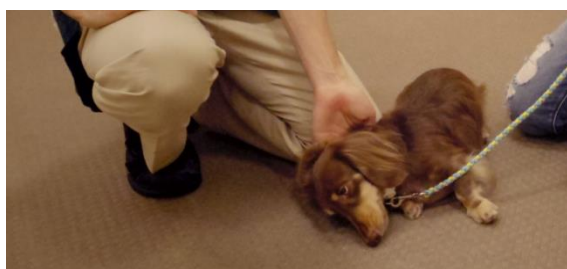
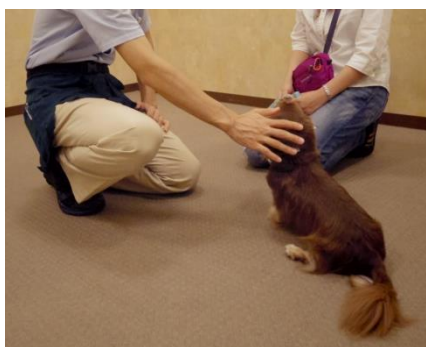
2. (他人との関わり) 他人が犬を触る

[審査]: ジャッジが犬に近づき、犬へ触れる。飼主は触らせる上での注意点があれば指示できる。



3. (他人との関わり) 他人からの健康チェック

[審査]: 他人が犬の目・耳・口・背中(毛並み)・足先・肛門周りのチェックをおこなう。



4. (散歩) 飼い主の横を引っ張らずに歩く

[審査]：約 3m 幅のラインを犬と一緒に往復する。

[備考]：人の左右どちらを歩いても構わないがどちらか決めておく



5. (散歩) 犬を連れて人とすれ違う

① 無言ですれ違う

[審査]：犬を連れて他人の約 1m 離れた場所を、無言で通り過ぎる。



② 挨拶を挟む

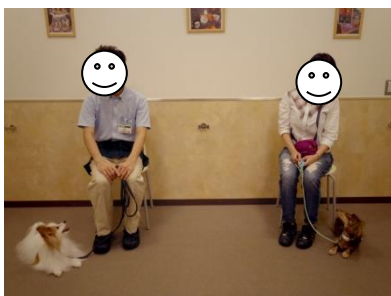
[審査]：上記①の項目の途中で止まり、犬を連れて他人に挨拶をする。



6. (動物病院の待合室・テーブルマナー) 人&犬の近くで待つ

[審査]: 犬を連れた他人の近く(約 2m)でイスに約 1 分間座る。

30 秒経過時に、飼主が近くに置いてあるジャッジに指示された物をつかみ動かす。



7. (基本的な合図) おいで

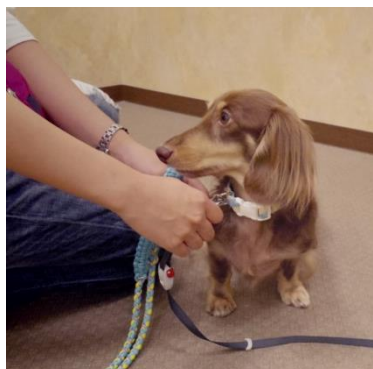
[審査]: 3m 程度離れた場所から呼び戻しをおこなう。その間、他人がロングリードを持つ。

他人からロングリードを受け取り付替え→離れる(自分のリードと一緒に持っていく)

→呼び戻し→自分のリードへ付替え

[備考]: 飼主は立った姿勢で行う

ノーリードにしない



8. (基本的な合図) 座れ・伏せ

[審査]: 飼主の前で犬に合図を出し、約 10 秒間維持。約 5 秒後に他人が 1m 程度後ろを歩く。

[備考]: 飼主は立った姿勢で行う

コング等の知育玩具の使用やトリーツを絶え間なく与え続けての姿勢の維持は不可



9. (その他) 係留(他人にリードを預ける)待機

[審査]: 他人が飼主からリードを預かり、1 分間程度、飼主は姿を隠す。

[備考]: 預ける際の注意点を指示して良い。



10. (お手入れ) 日常のお手入れを受け入れる

[審査]: [ブラシ・足拭き・顔周りを拭く・耳掃除・歯磨き(シート)(片側全面)・犬具の着脱]の中から2項目を試験開始時のくじで選択。飼主が犬にお手入れをする。

[備考]: 抱っこや床など場所は問わない。

- ▶ ブラシ…背中/胸/耳後ろ/四足全ての先端までブラシがかけられる



- ▶ 足拭き…四足全てをウェットティッシュで拭くことができる



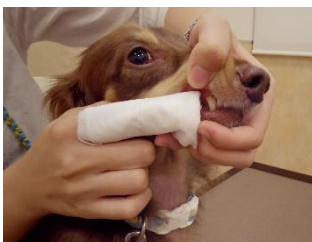
- ▶ 顔周り…目の周り/口の周りをウェットティッシュで拭くことができる



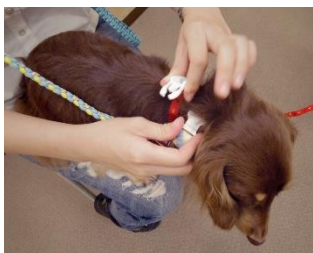
- ▶ 耳掃除…両耳をウェットティッシュで拭くことができる



- ▶ 歯磨き…歯磨きシートを使って片面全て行える



- ▶ 犬具着脱…用意したリードに繋げた上で自前のカラーの着脱を行うことができる。
他人が輪にしたリードを犬の首にかけた状態でおこなう。



11. (その他) クレート待機(3分間)

[審査]：犬をクレートに合図で入れ、飼主は会場から約3分間離れる。

[備考]：クレートのカバー利用、コング等のおもちゃの使用は可。

- クレートに入れる/出す際に唸り等がない
- クレート出入りの際にオフリード状態にしない(クレート内で外すのは可)
- 鼻鳴き/クレートを掘る等があった場合は減点とする





PET FOREST